

科名 血液内科

対象疾患名 高リスク急性骨髓性白血病

プロトコール名 ビキセオス 寛解導入療法

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	…	3	…	5	…	…	14
1	CV	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ	↓		↓		↓			
2	CV	側管	グラニセトロンバッグ アロカリス	1mg 235mg	30分かけて	↓							
3	CV	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓		↓		↓			
4	CV	側管	ビキセオス 注射用水 生理食塩液	100U/m2 19mL 500mL	90分かけて 壞死性抗がん剤	↓		↓		↓			

★1クール=14日間

～MEMO～

催吐リスク3(30%以上90%未満)

・寛解導入療法

本剤100ユニット(ダウノルビシン/シタラビンとして44mg/100mg)/m²(体表面積)を1日1回、90分かけて、最大2サイクルまで投与する。

1サイクル目として本剤を1.3.5日目に点滴静注する。1サイクル目に寛解に到達しなかった患者で、本剤への忍容性が良好な場合、1サイクル目の投与開始から2-5週間後に、2サイクル目として本剤を1.3日目に点滴静注する。

・必要量(mL)=ダウノルビシンの投与量(mg/m²) × 患者体表面積(m²) ÷ 2.2(mg/mL)

・地固め療法<実施基準>

- 寛解に到達した患者
- ECOG PS:0-2
- 左室駆出率(LVEF) ≥ 50%
- 好中球 > 500/μL
- 血小板数 > 50,000/μL

・希釈後、直ちに投与を開始すること。直ちに投与を開始しない場合は、2-8°Cで保存し、希釈後4時間以内に投与を開始すること。もし、溶解液を希釈前に4時間保存した場合、希釈後さらに4時間保存することはできず、直ちに投与を開始すること。